

3. 風水害等に備えて

まずは、
確実な情報が大事！
その次に迅速な対応！



大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策

大雨注意報・警報・特別警報の発表基準

大雨注意報	大雨によって災害が起こるおそれがあると予想される場合
大雨警報	大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発令されます。気象庁にて、地震による地盤の緩みを考慮し、揺れの大きかった市町村については、大雨警報・注意報の発表基準（土壌雨量指数基準）を暫定的に引き下げて運用する場合があります。

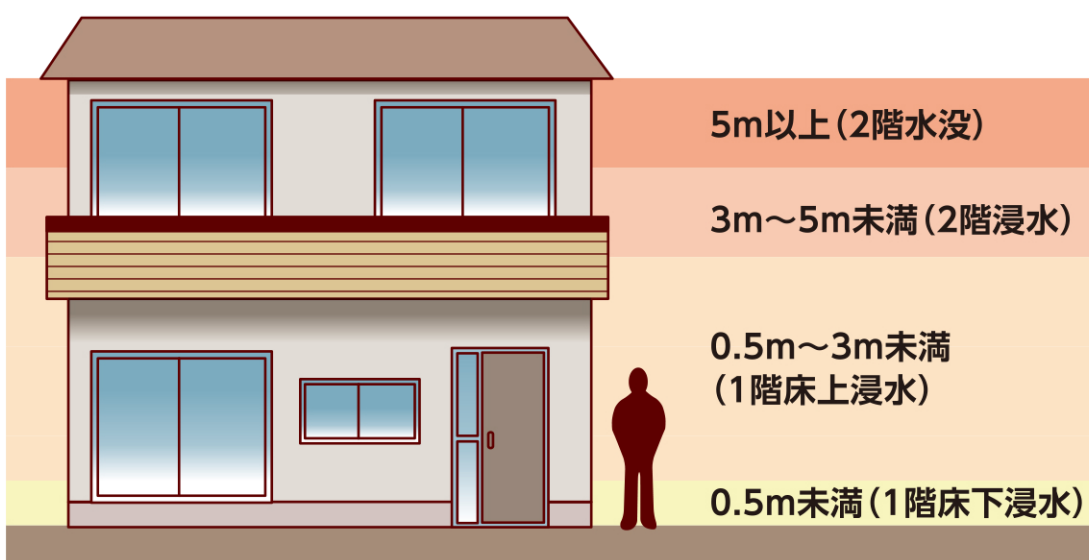
浸水想定区域とは

堤防が決壊した場合に浸水が想定される区域と深さを求め、それをシミュレーションにより示したものが浸水想定区域です。

なお、シミュレーションにあたっては、対象河川以外の河川の氾濫、想定を越える降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、浸水想定区域図に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

浸水想定区域図では下記の4ランクに分けて浸水深さを表示しております。

浸水の深さについて



想定される浸水の深さ

5.0m 以上の浸水想定区域
3.0～5.0m 未満の浸水想定区域
0.5～3.0m 未満の浸水想定区域
0.5m 未満の浸水想定区域

ハザードマップでは、想定される浸水の深さを色別で示しています。